

議会だより



12年後の私たちの未来に向けて！
「えとタイムカプセル埋設式」

平成28年12月定例会・臨時会

あらし・決算状況	2
陳情・請願・委員会・議員提出議案	3
予算審査特別委員会	4
臨時会	5
一般質問 10人が登壇	6
委員会レポート	16
町民の声	18

12月定例会は12月6日から15日まで開催されました。
町長から提出された議案は、専決処分の報告案件6件、専決処分の承認案件1件、平成28年度補正予算案件6件、条例の制定案件2件、条例の一部改正案件4件であり、すべて原案のとおり可決しました。
また、委員会提出議案2件、議員提出議案1件が提出されました。
一般質問は10人の議員により2日間にわたり行われました。

職員定数はそのまま

【主な質疑】

猪苗代町職員定数条例の一部を改正する条例

問 教育長が特別職となり、定数外職員になった。通常、総数で1名減になると考えるが、なぜ定数を現状維持としたか。

答 近年、行政の需要は複雑多様化してきており、嘱託員の増加にもみられるように業務が非常に多忙化している。より高い住民サービスを提供するため、定数は現状の178人とした。

猪苗代町農業委員会の委員等の定数に関する条例

問 農業委員と農地利用最適化推進委員をそれぞれ12人とした理由は、農業委員は、改正農業委員会法で規定している「認定農業者が農業委員の過半数を占めること」「利害関係のない者をいれること」「性別年齢の偏りがないこと」の3つと、今までの選出方法等を総合的に勘案した。
農地利用最適化推進委員は、改

正農業委員会法で担当地区を持つことになっており、農業委員会で検討し、旧町村単位の6地区が良いたという結論に達し、各地区2人とした。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

問 農業委員会の能力給は、予算の範囲内で町長が定める額となっているが。

答 国から農地利用最適化交付金が、活動実績と成果実績により、一定のルールに基づいて交付される。予算を計上するのは町長であるので、このような表現をとった。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

【五十嵐ミエ子議員】
【反対討論！】
能率給の額を公平に定めるべきと考え、納得がいかないため反対。

慎重な憲法論議を求める意見書

反対！

【渡辺真一郎議員】
憲法改正の発議そのものは問題ないと考え。最終的には国民が是非を決めるので反対。

【佐瀬眞議員】

さきの参議院選挙で過半数の3分の2を獲得し国民の審判を受けている。さらにこれから衆議院選挙があり、そこで審判を受ければよいので反対。

討論

賛成！

【五十嵐ミエ子議員】
国民が適正に意思決定ができるようにすることが必要であるので賛成。

【佐藤英一郎議員】

最終的な憲法改正の是非が国民投票の結果によって決すると記載があるので賛成。

あなたの声を審議しました！！

12月定例会で審議された「**請願・陳情**」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願 第3号	安全保障関連2法の強行採決に抗議し廃止を求める意見書の提出を求める請願	渡辺 二公	総務	継続 審査
	[女性会議猪苗代班 副代表 藤原 澄子]			
請願 第4号	「森林・林業基本計画」の推進を求める意見書の提出を求める請願	渡辺 二公	経済 建設	採択
	会津地区森林林業木材関連産業労働組合連合会 執行委員長 齋藤 勝則			
陳情 第5号	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出を求める陳情		総務	採択
	横向高原リゾート株式会社 代表取締役 前後 公			

委員会提出議案

「**軽油取引税の課税免除特例措置の継続を求める意見書**」

賛成全員

可決

【提案者】総務常任委員会

【内容】基幹産業の農業は多くの農家が大規模農機具を導入しており、町内農業生産者の62パーセントにあたる427件が軽油取引税の減免を受けている。また、スキー場産業では、町内6スキー場の索道事業者が使うゲレンデ整備車、除雪機等に使用する軽油13万2175リットルが免税を受けている。軽油引取税の課税免除特例措置が廃止されれば町内全体が大きな打撃を受けるので、特例措置の継続を強く希望する。

【提出先】衆議院議長・参議院議長・内閣総理

大臣・総務大臣・財務大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・復興大臣

「**森林・林業基本計画**」の推進を求める意見書」

賛成多数

可決

【提案者】経済建設常任委員会

議員提出議案

「**慎重な憲法論議を求める意見書**」

賛成少数

否決

渡辺二公議員ほか3人より提出され、賛成5人・反対9人で否決となった。

【内容】憲法問題については国民的議論の動向を十分に見据え、拙速な審議によって憲法改正の発議をすることがないよう、強く求める。

【議案内容と可決状況】

件名	1 星野あけみ	2 瀧田勝昭	3 佐瀬 真	4 細貝 功人	5 佐藤英一郎	6 大橋 清喜	7 渡辺 二公	8 長澤 操	9 金本久美子	10 渡辺真一郎	11 五十嵐ミエ子	12 佐藤光幸	13 関沢和人	14 後藤公男	15 長沼一夫	結果
猪苗代町農業委員会の委員等の定数に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	－	可決
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	－	可決
「森林・林業基本計画」の推進を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	可決
慎重な憲法論議を求める意見書	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	－	否決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらない。

予算審査特別委員会

議長を除く14人の委員で、平成28年度補正予算6件を審査し、すべて賛成全員により可決しました。

平成28年度一般会計補正予算

【歳入】

《国庫支出金》

問 「未来への投資を実現する経済対策」給付金事業の具体的な内容は。

答 臨時福祉給付金である。29年4月から31年9月までの2年半分の消費税引き上げ分の措置で、住民税が非課税の方が対象で、1人当たり1万5千円の給付を予定している。

《県支出金》

問 産地生産力強化総合支援事業補助金の減額は。

答 町がパイプハウスを整備し、農業者に貸付けする事業で、事業費の確定に伴い、請差分の補助金が減額になった。当初予定していた数量は設置した。

【歳出】

《総務費》

問 交際費増額補正の要因は。

答 全体的な年間計画の中で財政的に厳しい状況を勘案し、前年度より減額の当初予算を編成したが、道の駅猪苗代の開設、2020東京オリンピック・パラリンピックのガーナ国とのホストタウン登録や合宿の事前内定など、費用が予想より増額した。

《衛生費》

問 毎年、浄化槽事業費補助金が減額となっている。湖水の浄化のため、浄化槽を設置していない方に十分勧奨したのか。

答 浄化槽を設置する希望者がいないかという問合せを、設備業者に行っている。今後、努力をしていく。

《商工費》

問 商工業振興対策費補助金増額の内訳は。

答 空き店舗対策事業補助金家賃補助が20万円、空き店舗利活用事業補助金62万1千円、商工会運営強化事業補助金が200万円である。

問 新規学卒者等就職支援奨励金は、なぜ今増額になったか。

答 この奨励金は雇用開始してから6カ月を経過した翌月の10日を申請期限としている。今回、申込みが6事業所から9人あり、予定していた予算では不足が生じた。

《消防費》

問 消防費委託料の減額だが、磐梯山火山防災マップの作成を次年度にした経緯は。

答 関係7市町村で構成する「磐梯山火山防災連絡会議」を設置している。ハザードマップと併せて防災マップを作成する予算措置が、他市町村でなされていなかった。町は今年度ハザードマップを作成し、防災マップは次年度整備する。

諸手当、県に準じ改定

あらまし

平成28年第9回臨時会は12月26日開催され、平成28年度補正予算6件、条例の一部改正案5件を審議し、すべて原案のとおり可決されました。

【主な審議内容】

○平成28年度猪苗代町一般会計補正予算（第7号）

歳入歳出それぞれ787万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ85億4071万3千円とする。

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員の給与について、福島県人事委員会勧告に準拠し、職員の給料月額及び諸手当の額を改定する。

○議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議会の議員に支給する期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を改定する。

○町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

町長等に支給する期末手当の算定基礎額に乗ずる割合を改定する。

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に準拠し、所要の改定をする。

平成28年度猪苗代町一般会計補正予算（第7号）

【反対討論】

【五十嵐ミエ子議員】 この予算は、町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例に関連している。福島県人事委員会勧告によって職員の給与等が引き上げられるが、町長等の期末手当は職員に引きずられる性格のものではないと思う観点から反対。

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

【反対討論】

【渡辺二公議員】 町民の意見を伺った事実は重みがある。100分の160から1000分の165に増やすことは反対。

【五十嵐ミエ子議員】 財政状況、町民の暮らしが大変な状況であり、町民感覚から考えても今回の引き上げは行うべきではないと考えるので反対。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

【反対討論】

【渡辺二公議員】 町民の意見を伺い、厳しい意見がある。町民の置かれている状況を考えると賛成できない。

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬真	細貝功人	佐藤英一郎	大橋清喜	渡辺二公	長澤操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
平成28年度猪苗代町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	－	可決
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	－	可決
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	－	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。
※賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらない。



予算審査特別委員会



渡辺 二公

イノシシの対策は

【渡辺】イノシシは繁殖力が高いが。

【答弁】イノシシの成熟はオスで10カ月、メスで1歳から2歳。繁殖期は12月から2カ月、4月から5月に平均4・4頭を出産する。

【渡辺】電気柵を使用している結果は。

【答弁】電気柵の設置は個人・集落合わせて100カ所以上、長さは約38キロメートルに及ぶ。適切な管理を行っている集落では、イノシシの被害が皆無になっている。

また、イノシシ管理事業実施計画に基づく個体数調整、猟友会猪苗代支部の指定管理鳥獣捕獲により、具体的対策を進めている。

【渡辺】被害状況の変化は。

【答弁】出沒被害件数は平成26年度65件、28年度123件。捕獲数は26年度3頭、28年度14頭で、被害や頭数が拡大している。

【渡辺】個人的に設置している、罾や専用檻への公的な補助の考えは。

【答弁】個人的な狩猟期における領域での公的支援は、現時点で考えてい

ない。ただし、町主導の有害鳥獣対策を実施している有害鳥獣駆除隊には、町単独の活動事業補助金200万円を交付している。また、4市町村で構成する会津北部地域鳥獣害防止広域対策協議会では、国の交付金で捕獲用罾等を購入している。



イノシシを捕獲するための檻

【渡辺】イノシシの大小に関わらず、1頭捕獲につき2万3千円の報償金を支給していると聞か。

【答弁】福島県が福島県猟友会に委託、実施している指定管理鳥獣捕獲事業である。捕獲された個体につい

て、猟友会猪苗代支部に支払われている。

その他に県のイノシシ捕獲管理事業では、1頭1万3千円が交付される。一般狩猟者を対象とするこの制度も有効と考える。

集落案内標識の点検と整備は

【渡辺】保守点検は。

【答弁】総務課で管理し、目視により確認しているが、一番確かなものは、各地区の方々からの情報である。

【渡辺】樹木の枝でほとんど見えない標識もあるが。

【答弁】張り出している樹木等は、土地所有者の方にお願ひし、伐採や枝払いをしていただく。また、区長さんと協議をしながら適性な管理に努めていく。

小学校・中学校の統廃合は

【金本】町教育施設適正配置等推進委員会の状況は。

【答弁】25年3月の教育施設適正配置検討委員会より、中学校は31年を目途に現在の3校から1校に再編する提言書をいただいた。今年2月、5月、10月と推進委員会を開催し、提言内容通りにいかなかったことを申し上げた。

さらに統合中学校を現猪苗代中学校敷地内に、34年を目標に新築するという教育委員会の方針を示した。

【金本】統合中学校の着手予定は。

【答弁】来年度より基本構想等事務的な準備と、関係する地区、保護者等の説明会を行い、教育委員会等の関係機関との協議も行っていく。

【金本】財源の見通しは。

【答弁】中学校は義務教育で文部科学省所管となっており、公立学校施設整備負担金により行いたい。補助率は10分の5・5で、残りは過疎債や一般財源になる。全体事業費は、参考までに概算で30億円である。

【金本】中学校統廃合に関する関係者への説明会は。

【答弁】吾妻小中学校の保護者に関してはアンケート調査を行った。基本方針の策定がこれからであり、それらを基に、29年度より保護者や関係地区の説明会、関係機関との協議を行っていく予定である。中学校が34年開校となると、説明の相手は小学校低学年の保護者が対象になってくると考えている。

【金本】小学校の統廃合の事業計画は。

【答弁】中学校の統合後に、小学校は6校から3校に統合するという提言書であったが、教育委員会としてはまだ具体的な事業計画とはなっていない。

【金本】こども園で集中し、小学校で分散し、中学校で統合される統廃合事業の完了までの財政計画は。

【答弁】財源的な問題と保護者の同意が重要になるので、十二分に精査しながら、子供に教育ができるような環境づくりをしていきたい。



金本 久美子



新校舎が建設される予定の猪苗代中学校

Q. 統合中学校の建設着手と開校時期は

A. 平成32年度建築工事に着手し、開校予定は34年としている

Q. イノシシが増え、その対策は

A. 被害防止、個体数と生息環境の管理を中心に取り組む

【お詫びと訂正】

議会だよりNo144号の記事中に誤りがありました。
金本久美子議員の一般質問9ページ1段目の記事の中、「県の選挙管理委員会等と協力し、」を削除いたします。
お詫びして訂正いたします。



佐瀬 真

子ども園の問題は

【佐瀬】インフルエンザなど、ウイルス性の感染症対策は。

【答弁】感染症の発生状況を保護者に告知すると共に、厚生省対策ガイドラインにより処理している。体温が規定の値を超えた場合には早退や休園などをお願いしている。

【佐瀬】感染症かどうか判断を下せる方は園内に常駐しているか。

【答弁】園内に保健師を配属し、アドバースに基づきクラス担任が早めに対処している。専門的な立場から学校医にも指導を仰いでいる。

【佐瀬】通園バスの安全運転マニュアルは設けているか。また、近距離通園している園児の保護者の事情で、同伴通園が困難な場合の対策は。

【答弁】安全対策の話はしているが、安全運転マニュアルは設けていない。送迎バスのルート・駐車場の変更は原則行っていない。軽微な変更はニーズに沿って考慮する。



幼稚園で行われて来た「白虎隊」

【佐瀬】バス通園児の入りがお遊戯室となっている。初めての冬を迎えるが対策は。

【答弁】入り口上部の雪庇や凍結は、利用前に先生方、添乗員と共に安全を確保する。

【佐瀬】保育発表会で伝統的に行われてきた「白虎隊」がなかったが。

【答弁】演舞する5歳児が多いため、3月の保育参観日に披露したいと考えている。



東京日本橋のふくしま館「MIDETTE」

観光猪苗代の取り組みは

【佐瀬】世界ジオパークを目指すために、ジオパークを観光の根幹に据えることは出来ないのか。

【答弁】多くのジオ資源をストーリーリブけして魅力を高め、観光振興につなげていく。

【佐瀬】町独自のアンテナショップを首都圏に設けることは出来ないのか。

【答弁】町独自では経費などの問題が課題である。会津ブランドを売る意味でも、極上の会津協議会と共に一緒に展開するべきである。

空き家等の対策は

【細貝】平成25年以降の実態調査は。

【答弁】本年10月に民間の調査会社に委託し、町全体の空き家の実態調査を行っている。空き家と思われる件数は435件という結果が出ている。

【細貝】空家対策条例制定に向け、認識と必要性についての見解は。

【答弁】条例制定に向けて、十分に検討させていただきたい。

諮問機関等の問題点は

【細貝】審議会、調査会の設置数は。

【答弁】条例と規則において規定がある機関では25の組織が存在する。

【細貝】各組織の年間活動日数の実績は。

【答弁】当面する行政課題がないため、活動していない組織が9組織ある。実際に活動している16組織は、27年度で延べ30回の会議等を開催している。

【細貝】各委員の人選の基本方針は。

【答弁】町長の諮問を受け、各種会議に出席可能な方を構成委員としてお願いしている。

【細貝】審議会の名称が異なっても、構成委員の中に重複者がいるのが実態である。公募や女性委員の増員等の見解は。

【答弁】同じような目的を持った組織には委員が重複することがある。組織の目的に精通した方を選出しており、今後もそのような形で選出していきたい。

公募による委員は、2組織で3名。女性委員は16組織179名中49名で、今後も願っています。

町長、副町長不在時の対応は

【細貝】今まで町長、副町長がともに町内に不在ということは、どの程度あったか。

【答弁】直近11カ月間についての回数は23回であった。

【細貝】同時に町を不在にする場合、その対応方法は。

【答弁】常に連絡がとれるように備えており、緊急の場合には支持を仰ぐような体制を構築している。



細貝 功人

Q. 空き家等対策協議会の設置は

A. 協議会を設置する考えは今のところない



増えていく空き家



瀧田 勝昭

Q. 奨励品のブランド化は

A. 米以外の野菜等についても検討していく

農業奨励品の現状は

【瀧田】本年産の作付品種の状況は。

【答弁】全水稲の作付面積は、2154ヘクタールである。品種別では、ひとめぼれが1439ヘクタール、天のつぶが69ヘクタールなどである。収量は、ひとめぼれで約8600トン、天のつぶで約400トンと推定される。その他、ヒメノモチ、あきたこまち、まいひめ、コシヒカリが作付けされている。

【瀧田】天のつぶの販売数が、猪苗代で少ないという現状はなぜか。

【答弁】県外や国外で高値での販売を戦略としている。農協出荷者は全農を通して買い取り米で、農協で販売出荷している。

【瀧田】地元の人たちが興味を持っている天のつぶは、通常的に供給されないが、ブランド化につながるか。

【答弁】いなわしろ天のつぶが、猪苗代に来て食べられないというのは、ブランド化の戦略としては外れると思う。ご飯として提供する猪苗代の事業者の方々へ、いなわしろ天のつぶを使っていたらどうか。今、サンプルを含め、PRをしているところである。



奨励品の「いなわしろ天のつぶ」

【瀧田】奨励品の海外展開は。

【答弁】輸出力は、アラブ首長国連邦へは平成27年度210キロ、28年度600キロ、カタール国へは27、28年度それぞれ210キロの実績である。

また、香港行政特別区、オランダ王国との輸出者、販売者ルート構築をしており、モロッコ王国、インド共和国、イタリア共和国、サウジアラビア王国へサンプル米を送付している。

【瀧田】奨励品としての生産見通しは。

【答弁】現在の種籾の注文で天のつぶは増加していない。ひとめぼれも若干減っている。本町が種場である里山のつぶは、本町に適する米になるのではないかと期待されており、来年度の種子は、増加する見込みである。県オリジナル品種である天のつぶ、里山のつぶで生産拡大、ブランド化を図る。

【瀧田】食味分析計の導入効果は。

【答弁】検査件数は27年度で52件、28年度で22件である。昨年度実施した第1回猪苗代おいしいお米コンテストでは、出品件数は38件であった。食味分析計導入により、食味に対する生産者の意識の変化があったと思う。

地域おこし協力隊の実績と今後

【渡辺】地域おこし協力隊の実績は。

【答弁】1人は空き家、空き店舗の実態を調べ、435棟が空き家との調査実績である。もう1人は農畜産物の六次産業のブランド化を狙い、海外商談、展示会等の従事、首都圏でのPR販売促進を行い天のつぶ約800キログラムを海外で販売した。

【渡辺】契約の更新、隊員増員の意向は。

【答弁】最長3年まで更新できる。隊員も新年度3名増やす予定である。

【渡辺】若い女性隊員は活動終了後、定住する率が高いので増やせないか。

【答弁】ふるさと納税の推進、観光振興支援、有害鳥獣駆除の業務を行う人を採用予定で、女性でも可能な業務であり、全国に公募し採用に結び付けたい。

役場の非正規職員の実態は

【渡辺】役場の非正規職員の数、割合は。

【答弁】嘱託員、臨時職員計159人47%である。10年前は56人22%であった。

【渡辺】どのような職種が増えたか。

【答弁】保育士、児童クラブ支援員、有害鳥獣駆除隊が増えた。技能、資格等が必要な業務である。

【渡辺】男性、女性の比率は。

【答弁】概ね3分の2が女性である。

【渡辺】正職員へ登用することは可能か。

【答弁】職員の採用試験に合格しないと採用にならない。

【渡辺】待遇改善は進んだか。

【答弁】賃金、報酬、手当、休暇等改善してきた。

【渡辺】非正規職員の割合が高く、役場全体の職員の士気に影響する。更なる改善は。

【答弁】近隣の町村も参考に、これからも改善していく。

株式会社道の駅の現状

【渡辺】道の駅がオープンしたが、工事は全て完了したか。

【答弁】ヘリポート、従業員駐車場、農道付け替え工事が残っている。平成29年度中に終了する。

【渡辺】予算はどの程度必要か。

【答弁】折衝中である。

【渡辺】町からの増資の考えは。

【答弁】現時点では考えていない。必要に応じ、その時点で判断する。



オープンした道の駅猪苗代



渡辺 真一郎

Q. 役場の非正規職員の人数・割合は

A. 嘱託職員125人、臨時職員34人で合計159人全体の47.7%を占める



関沢 和人

第七次猪苗代町振興計画は

【関沢】町長はどのような町づくりを目指すのか。

【答弁】前計画の基本理念を継承しつつ新しい時代に対応する計画となるよう指示し「住民生活の安全・安心を肌で感じること」など、5つの目標を基本に持続可能な未来ある町づくりを目指す。

【関沢】進捗状況は。

【答弁】平成28年10月に第1回町振興計画審議会を、11月に第2回を開催した。各課の代表係長をメンバーとした会議も4回開催し、素案の取りまとめをした。第3回審議会では基本計画案を審議する予定である。

【関沢】前計画との整合性は。

【答弁】実績、評価を踏まえ、整合性を図っていく。

【関沢】28年3月に作成した「猪苗代町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略」は計画に活かされるのか。

【答弁】第七次猪苗代町振興計画へ反映していく。

【関沢】将来人口目標値は。

【答弁】38年の人口目標は、1万2900人とする。

【関沢】計画の最終年度の財政はどのようなになるか。

【答弁】人口減少により、住民税や地方交付税の減少に結び付くと考えられ、現在のような予算編成は厳しくなっていくと想定できる。

【関沢】町民の所得向上対策は計画に盛り込まれないのか。

【答弁】総合戦略との整合性を図りながら、計画に反映する。

【関沢】町の経済振興対策は。

【答弁】地域産業の振興、工場誘致、製造業以外の誘致にも力を入れる。

29年度予算は

【関沢】重点施策は。

【答弁】予算の調整中で、具体的な施策は答えるのが難しい。

人口の将来展望 単位：人

	実績値	社人研推計	町目標値
平成27年	15,037	14,709	14,709
平成32年	—	13,702	13,767
平成37年	—	12,712	12,980
平成42年	—	11,762	12,342
平成47年	—	10,849	11,823
平成52年	—	9,935	11,330
平成57年	—	9,005	10,858
平成62年	—	8,138	10,476
平成67年	—	7,355	10,197
平成72年	—	6,656	10,021

猪苗代町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略より

【関沢】予算の規模は。
【答弁】一般会計で80億程度と考える。
【関沢】町施設の管理費の動向は。
【答弁】こども園の管理費、人件費の増額を考えている。



五十嵐 ミエ子

Q. 教育に関する負担軽減を
A. 柔軟に対応していく

給食費の軽減施策は

【五十嵐】給食費の軽減は。

【答弁】学校給食法により設備整備、施設運営に関する以外の経費は、児童生徒の保護者が負担することになっている。法に則り対応する。

今後の社会情勢の変化により、関係機関と協議の上、柔軟に対応していく。

フッ素洗口の実態は

【五十嵐】フッ素による子どもの虫歯予防に、集団洗口を行うのは危険性があると言われているが。

【答弁】フッ素は基本的に劇薬であり、特に誤飲の恐れのある小学校低学年の児童に使用することは、問題があると認識している。現時点では導入予定はないが、なんらかの虫歯対策は必要と考えている

若者定住に空き家の活用を

【五十嵐】町の空き家は435戸ある。空き家を活用して若者定住促進に取り組むべきと考えるが。

【答弁】若者定住化の施策は重要と認識している。川桁地区に定住促進住宅30戸、鶴峰地区に若者入居対象の町営住宅10戸を整備した。平成27年度からは民間賃貸住宅家賃補助金や定住促進事業補助金を創設し、若者定住に取り組んでいる。また、町内の空き家調査を実施し、活用できる物件があれば、所有者の理解を得ながら若者定住につなげたい。

国保広域化は

【五十嵐】国保の広域化で実施主体が町から県に移行することにより、住民の命を守る仕事を手放すのではと危惧している。今後の動きは。

【答弁】国保の財政運営責任を30年度に県へ移行するにあたり、財政改善効果を伴う追加交付が1700億円規模で実施されることになっている。これにより29年度から30年度にかけて、保険料の伸びが抑制あるいは軽減されることが見込まれている。



若者定住に空き家の活用を



長澤 操

Q. 道の駅猪苗代の現状は

A. 1日平均3,725人が来場している



連日賑わいを見せる道の駅猪苗代

町活性化のため交流人口の拡大を

【長澤】道の駅猪苗代の活用は。

【答弁】町内及び会津地方全体の観光案内、各地イベントや道路情報の提供。地元農産物、土産品の物販コーナー、地元食材を使ったレストランや軽食コーナーの運営。急速充電施設・RVパークを整備し、地域振興の拠点施設として活用していく。

【長澤】観光施設および観光地域の整備促進は。

【答弁】町の魅力を高めるため、絶えず点検整備し、充実を図る。今年度は、道の駅にジオパークの案内看板2基設置、スキー場の崩落地の復旧工事、達沢不動滝の流木撤去や防塵処理等の林道整備を実施。白糸の滝展望台の景観保全や湖岸のサイクリングロードの景観整備は、関係機関と協議の上進めていきたい。

【長澤】誘客のための宣伝等の取組みは。

【答弁】各種イベントの実施、教育旅行、インバウンド対策、スキー誘客と総合的、重層的に取り組んでいる。今年度は10万人10万泊事業が実施されており、引き続き情報発信に努めていく。

少子化対策と福祉対策は

【長澤】人口減少の原因と解消法は。

【答弁】少子化や、女性の社会進出により自活できる時代になったことなどが考えられる。

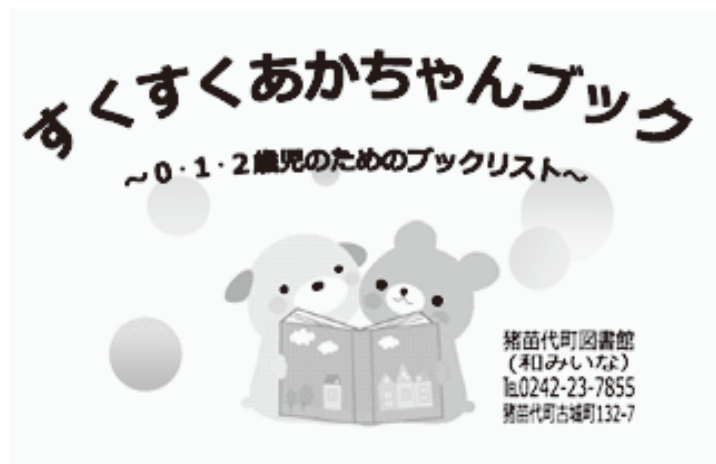
子育て支援は

【星野】赤ちゃんとの時間を大切に

きつかけとして、出生届け時に絵本を贈る考えは。

【答弁】平成27年度から、乳幼児健診会場に絵本を展示し、おすすめのブックリストや保護者向けリーフレットを配布している。

今後、図書歴史情報館と連携し、事業実施を検討する。



赤ちゃんのころから絵本とふれあいを

【星野】赤ちゃん相談窓口をもっと分かりやすく開設する考えは。

【答弁】毎月2回の農村環境改善センターでの健康相談は、多くのお母さんが利用し、赤ちゃん相談窓口の役割を果たしている。お母さんの利用が全体の約半数以上を占めている。

健康相談の日程表は、毎年3月の広報とともに全戸へ配布しており、さらにごみカレンダーにも日程を掲載している。

【星野】役場窓口に赤ちゃん子育て相談窓口の案内板設置の考えは。

【答弁】今後十分に検討する。

【星野】5歳児健診実施の考えは。

【答弁】現在5歳児健診は母子健康法に定められていない。福島県内では一部の市町村が実施している。視察や情報交換を行い、29年度から実施を目指して精査している。

町振興計画では「猪苗代町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を踏まえ、減少をいかに緩やかにするか検討していく。

【長澤】猪苗代高校卒業者の町内就職率の向上は。

【答弁】町内に住所を有する者が町内企業に就職した場合、月2万円で12カ月を上限として、雇用した企業に交付し、地元高校生の町内就職を奨励していく。

【長澤】高齢者への町独自の取組みは。

【答弁】長寿祝い金として88歳1万円、90歳3万円、99歳5万円、100歳で20万円を支給している。他に自立支援ホームヘルプサービスや在宅高齢者サポート事業がある。認定を受けたグループホーム入居者に対する家賃助成や、要件を満たす介護者に介護者激励金の支給等の事業を行っている。

放課後児童クラブ支援員の確保は

【星野】新年度がスタートしてから支援員の募集があったが。

【答弁】支援員の退職や児童数の増加に伴い募集した。11月末現在3名の追加で委嘱し、不足している状況ではない。

【星野】支援員確保のため、経験者への働きかけは。

【答弁】年齢制限もあり、再雇用には至っていない。

人材確保は

【星野】嘱託職員の再雇用時に要望等を聞く機会はあるか。

【答弁】募集要件に基づいて受験されるため、要望は聞いていない。報酬は規則により職種、資格、経験等換算している。



星野 あけみ

Q. 「こんにちは赤ちゃん事業」の取り組みは

A. 乳児の育成環境を確保するため、生後2カ月頃保健師が全戸訪問を実施

委員会レポート

文教厚生常任委員会

介護保険と介護予防事業

【概要】

全町民の3人にひとりには65歳以上の高齢者である。また、町の介護保険に要する費用は年々増加し、平成27年度には27億円を超えた。今後、1年間に1億ずつ増えている予測がされている。現在、町の65歳以上の人口約5千人のうち、約1千人が介護認定を受けている。いくつになっても元気で過ごすためには、積極的な介護予防事業の取り組みが大切であると考えている。「住民主体の通いの場」の必要性を理解していただき、取組んでもらえるよう、昨年に引き続き講演会を開催する。講演を聞いていただけた方には、自分たちが介護予防に取組まなければならぬという必要性は理解していただけるが、なかなか広まらない。閉じこもりの予防と互いの見守りも兼ねて、簡単な活動が行われている「高齢者サロン」と、介護状態になることを予防する体操を指導者のもとで行う「介護予防体操」が、身近な集会所などで自主的に開催されている。

【意見】

・介護予防運動を上手に利用しながら、地域の人とつながり、各地区で介護予防事業が行える環境を増やしていくことがとても大切である。
・自主的に運営するにも、指導者がいないと難しい。指導者の育成を考えていくべきではないか。
・介護予防事業に取組むことが、介護保険料を減らしていくことにもつながる。町民の理解を得ながら、啓蒙運動を根気良く続けていく必要がある。
・介護予防事業に参加できる方は限られている。参加できない町民に、どのような手を差し伸べられるかがこれからの課題である。



打越集会所で行われている介護予防体操

総務常任委員会

水防の現状は

調査内容

市町村は水防法の規定に基づき指定水防管理団体として指定を受けており、水防計画は河川、湖沼の洪水等の水害に対処し、被害を軽減することを目的としている。注意報、警報、特別警報が発表され、洪水等の水防活動の必要がある場合に、町長を本部長として予想される被害の大きさに応じて第1配備体制から第3配備体制までの体制を組み、避難に対応すべく業務分担を行っている。本部長は気象情報等に応じて消防団長に対して水防活動を要請し、消防団長の指示により実際に各分団長が警戒態勢にあたり、水防巡視等を実施する。

長瀬川3箇所、酸川1箇所のそれぞれの地点において、県土木事務所で「通報水位」、「警戒水位」、「氾濫危険水位」の計測をしており、氾濫危険水位に達した段階で避難判断を行う。雨量については、県東京電力で観測所を設けて雨量の観測を常に行っており、福島県水防信号規則に基づき、防水信号が第1信号から第4信号まで定められている。危険箇所等は、出水手前の5月に土木事務所、町、消防団が合同で巡回をしている。



水防訓練の様子

【意見】

水防は、財産生命を守る重要な問題であり、新たな建設事業を実施しようとする場合、水防という視点から関係機関に意見を述べられるようなシステムづくりが必要ではないか。また、河川の改修、浚渫など水防上懸案事項となっている問題については、より積極的に関係機関へ働きかけ、町民の安心な暮らしを確保していく必要がある。水防計画は見直しを常に行うとともに、いざというときの交通手段の確保のため関係団体と協定を結んでおくことが重要である。

議会運営委員会

～議会活性化の取り組み～

【若手県紫波町】

紫波町議会改革は、平成19年9月議会から平成23年6月議会までの4年間で第一期、平成23年8月議会から平成27年6月議会までの4年間で第二期として位置づけ、8年間にわたって改革を進め、「どこから見られても耐えうる議会づくり」を基本としてきた。

【主な議会改革の内容】

- ① 議長交際費の公表
- ② 議会報告会の開催
- ③ 常任委員会における政策形成サイクル
- ④ 議会の一般質問インターネット中継
- ⑤ 通年議会の導入
- ⑥ 議会モニター設置
- ⑦ 政務活動費の公開
- ⑧ 費用弁償（日当）の廃止
- ⑨ 議員定数の見直し
- ⑩ 議会基本条例の制定

【意見】

議会報告会は、民意を知るためにも、年1回の実施は必要である。通年議会の導入は、常任委員会の活動日数が増え、いつでも活動可能となるメリットがあるので今後の検討課題である。議会モニター設置は、議会以外から議会に対する視点が必要であり、実施を検討すべきである。議会の運営に工夫が凝らされている。

【宮城県利府町】

利府町議会では、平成19年4月と平成23年9月のいずれも改選の



利府町で議会活性化について研修

経済建設常任委員会

【概要】

①新企画の全スキー場共通シーズン券は

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による風評被害の払拭と、町内スキー場の魅力を高め、誘客増加と地域経済の活性化を図ることを目的に、町内6スキー場で使用できる共通シーズン券を「一般社団法人猪苗代観光協会」で販売している。販売価格は大人3万5千円、子供（小学生以下）1万円で、利用期間は平成28年11月12日から平成29年4月9日（予定）である。

②有害鳥獣被害は

二ホンザルの被害件数は、平成28年度87件、捕獲数は3頭、現在確認されている群数は14群で、吾妻・長瀬・月輪・猪苗代の一部の地区で確認されている。対策は、花火・電気柵が有効と思われる。ツキノワグマの被害件数は、平成28年度84件、捕獲数は10頭で、檻での捕獲である。イノシシの被害件数は、平成28年度30件、捕獲数は10頭で、檻での捕獲である。

【意見】

①販売先が「一般社団法人猪苗代観光協会」のみの取扱いとなつてることから、町内各スキー場や道の駅でも販売できるよう検討すべきである。その他、宿泊施設や、各スキー場、ホームページ等でもPRすべきではないか。

②二ホンザルは、電気柵の設置を多面的機能支払交付金や中山間支払交付金を活用しながら、集落単位で推進し、埋設場所は、町が土地を選定・提供すべきではないか。ツキノワグマは、長瀬川・高速道路沿線の木々の伐採を管理者にお願いし、イノシシも含め、放射能の関係もあるが、肉の加工・販売等も考え、有効な資源の活用ができればと思う。



発信機でサルの群れを探す

町民の声



翁島地区
遠藤 一喜さん

道の駅猪苗代が完成して

猪苗代の観光・お土産・野菜・お米などの地場産品猪苗代ブランドの情報発信施設「道の駅猪苗代」は、町の顔としてオープンしました。施設内には24時間使用可能なトイレも併設しており、駐車スペースを気にすることなく、お客様にも気軽にご利用いただけます。

さらに近年では観光形態も日々変わり、日帰りでの観光など行動範囲も広くなり、観光より自然などを求めて来るお客様も増え、車で夜に出発して現地で仮眠をとり、早朝より活動するアクティビティ関係のお客様も多く、その為

の対応拠点としての重要な場所でもあります。

しかも猪苗代ブランド地場産品の販売拠点としての重要な役割もあり、1カ所で猪苗代のお土産が選べることも大事なことです。お客様にはお土産・野菜等を買って求めてもらい、友達・ご近所に配ってもらい、そのお土産を食べた人、話を聞いた人々が猪苗代に興味を持ち、猪苗代に来て頂ければいいなと道の駅を見ながら思います。

私もいろいろな道の駅を見て来ましたが、「道の駅猪苗代」の施設は大きな部類に入るのはないかと思っております。このスケールのメリットをおおいに活用し、猪苗代ブランドをどんどん売り込み、地元から盛り上げ、地元がしっかりと支えて、猪苗代観光の発信の中心となる「道の駅猪苗代」の発展を応援したいと思います。

最後に、町民にも愛される道の駅になる事を願います。

議会の行事

福島県町村議会議員研修会（10月30日）

「地方議会の課題と活性化策」と題して読売新聞東京本社編集局企画委員の青山彰久氏と、「これからどうなる政局・政治」産経新聞社編集局政治部長の石橋文登氏の講演を聴講しました。

（ビックパレットふくしま）



傍聴においで下さい

**3月議会は
3月7日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：13日(月)・14日(火)】

※質問者・質問内容については3月1日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ

編集後記

平成28年はひまわりこども園の開園、道の駅猪苗代のオープンと大きなイベントが続きました。29年は猪苗代町の農業と観光がより飛躍するように祈っております。

今議会の一般質問の日には多くの傍聴者においでいただきました。今度は是非、議案審査の傍聴にもお出かけください。町ホームページでのインターネット録画映像配信も実施しておりますので一度ご覧ください。議会に少しでも関心を持っていただくために、議会だよりがあります。編集委員一同懸命に議会の内容が伝わるように努めております。議会の広報広聴の在り方に対するご意見をお待ちしております。

瀧田 勝 昭

議会広報編集特別委員会

委員長	後藤 公男
副委員長	佐藤 英一郎
委員	星 野 あけみ
委員	瀧田 勝 昭
委員	佐瀬 功 真
委員	細貝 功 人
委員	渡辺 二 夫
議長	沼 一 夫